jam
JAPAN ANTIOCH MISSION

All the peoples on earth shall be blessed - Genesis12:3

アンテオケ宣教会ニュース

ハイライト
①アンテオケ公認ボランティア紹介
②踏み出せる小さな一歩を重ねて

No.250
Jun. 2025

宣教レポート
近況＆祈祷課題
インフォメーション

学校での講話

能登復興センターのキッチンカーの前で

フィリピンの親戚一同

スウェーデンの元宣教師たち

インドネシアで字のない絵本の制作中

カンボジアで作ったおせち

辞世の句

アルゼンチン　在原　繁・津紀子

「あふ時は　語りつくすとおもへども　別れとなれば　のこる言の葉」この句は、赤穂浪士四十七士の一人、大石内蔵助の長男、主税の最後の言葉です。1703 年 3 月 20 日、お預け先の松平貞直邸で切腹。享年 15 ～ 16 歳でした。この句を現代文に訳してみれば、「いつも顔を合わせていた時には、十分に語り尽くしたいと思っていたが、いざ別れてもう二度と会うことができないと思うと、話したいことは沢山あったのに、とても心残りな気持ちになる」ということでしょうか。

4 ヶ月の駆け足日本滞在中には、最近召された牧師方のご家族の教会へ伺うことが許されました。主の御霊と御声により献身へと押し出されて以来、ひたすら神と教会と羊を愛された牧師方の生涯は、「逆境下の苦難」の連続でした。思うに、牧師方に確立された気高き品性と溢れる「キリストの香り」は、数々の試練で練りに練られ体得されたものでした。かつて、若輩の私アリハラに対する霊的アドバイスには「金言」ともいえる深みがあり、正に、聞く者に不滅の真理を悟らせる言葉でした。時は流れ、I 牧師にもう一度お目にかかり、十字架の奥義について論じてみたい。T 牧師には御霊による教会形成について教えを請いたかった。とても心残りで感傷的な気持ちで唇を噛む今日です。言葉を有する人々の話に傾聴し、信仰の奥義を語り合い、恵みを分かち合うことは、天からの贈り物だと痛感します。この原稿を皆様が手にする頃、私たちは宣教地ピライに立っていると思います。仕えてきた「アルゼンチン宣教」はすでに 38 年目を迎え、私たちも歳を重ねました。体力と気力の限界を痛感致しますが、天来の使命を果たしてまいりたく願っております。（繁）

二つの報告・祈りの課題

韓国　朴ダニエル・イム・ヨンジョン

韓国では大統領の交代、アメリカ新大統領の影響など政治・経済面で大きく揺れている中、在韓邦人宣教と日韓間の霊的架け橋を使命としてスタートした日本ビジョン教会も、気がつけば 18 年になりました。今回は 2 つの報告と 2 つの祈りの課題をお分かちしたいと思います。

まずは報告から。出戸バイブルチャーチの韓国語礼拝の奉仕は 3 月で一旦終了しました。VIP 日韓大阪交流会も出戸から北浜 VIP 関西センターに場所を変える事になりました。第 17 回 VIP 日韓大阪交流会は 11 月 15 日 (土) 午後 5 時からです。また、JBA 大阪ビジョントリップもこれまで年 3 回行なってきましたが、これからは年 2 回の実施となります。これからは日韓交流の働きを少し減らし、在韓邦人宣教にもっと時間と力を注ごうと思います。

次に在韓邦人宣教、その中でも統一教会の日本人救出に力を入れると祈りながら、宗教 2 世として統一教会のバックグラウンドを持ちながらアメリカに行って救われたユ・ハウン牧師夫妻に出会い、一緒に働く事になったのも恵みです。共に、礼拝堂に近いソウルのミョンドンで日本語の漫画聖書を配ります。

ダニエル朴宣教師を支える会の代表、才門兄が大病から回復することができて感謝でした。次に祈りの課題。一つは私の妻、イム・ヨンジョン宣教師が 5 月 19 日に手首の骨の手術をします。手術が成功するようにお祈りください。もう一つ、在韓邦人宣教のために韓国で働く若い宣教師が与えられるようお祈りください。

「あなたが歩むとき、その歩みは妨げられず、走るときにも、つまずくことはない。」（箴言 4 章 12 節）（ダニエル）

手術後の慰めと回復

韓国　長澤久美子

乾燥が続く韓国では毎日のように山火事防止のアナウンスが流れていますが、今朝は雨になり、木々の緑も目に美しく映ります。シャローム！主に在る皆様、お元気ですか？お陰様で私も皆様のお祈りの中で守られています。

さて、去年の暮れにガンの手術をし、今年に入って放射線治療を受け、しばらくは副作用がありましたが徐々に回復し、いったんは諦めていた 3 月の末っ子の牧師按手式に、担当医からの許可も得てアメリカへ行ってくる事が出来ました。

それは誠に神聖な時、祝福と恵みの式でした。息子を含む三人の伝道師は若い聖職者として正式に按手され、主に選ばれ、召されたことを確信しスタートしました。これまでの準備、そしてこれからの歩みのため沢山の兄弟姉妹たちの祈りに感謝いたします。息子は近い将来日本宣教に召され、この 6 月には結婚します。どうかヨハン牧師のために覚えてお祈りください。

そしてもう一つは 4 月の終わりに、仁川の長老たち夫婦の集まりの 12 人が、コロナ後再びインマヌエル教会を訪問され、共に礼拝し、会食し、また教会に献金を届けに来て下さいました。皆さん工場の社長さん達で信仰のグループです。小さく弱いろう者の群れを愛し教会のためにと応援して下さいました。しかし何よりも霊的な応援、特に今回私の病気のことを主人が語りました時、共に心痛め、慰め励まし祈って下さいました。そして「李先生と久美子先生、ファイト！」と拍手をして力付けて下さいました。この様な訪問を通して私たちも励まされ神の家族の繋がりを共に覚え、幸いな一日となりました。今日も皆様のお祈りと献げ物に感謝し、天からの祝福を願い祈ります。

復活の主に目を留める

国内　国際教会牧会　　宇井英樹・由美

4 月 20 日、イースター、メンバーの皆さんと一緒に会場の準備をし、祈り備えて、礼拝を迎えました。皆がそれぞれ、いろんな役割を進んで引き受けてくれて、素晴らしいイースターの礼拝と、楽しい持ち寄りスナックのパーティーを持つことができました。初めて来られた方が 2 名、久しぶりの方が 2 名おられ、感謝でした。また、私たちの第 1 の宣教地で日本語の聖書の会を通して救われたNさんと帰国後信仰を持たれたご主人のHさんは、転勤により数週間前から私たちの教会に集われていて、一緒にイースターを祝えたことも大きな励ましでした。

由美が公園のラジオ体操で出会ったHさんをイースター礼拝にお誘いしたら、友だちと来ると言われ、楽しみにしていました。ところが前日にHさんが二人とも行けなくなったと言われました。その週末、山手線の一部が運休になるため、家族に出かけるなと反対されたそうです。（実際には私たちやHさんが利用する区域には全く影響はなかったのですが。）

その週は他にも残念なこと、気がかりなことがあり、神様に励ましを求めていると、「イエスに目を留めなさい」という言葉が心に浮かんできました。私がゴールを目ざして走るのを妨げる心配、落胆、また他のことに心が奪われることなどから自由になり、疲れ果てることなく、完走するためには、主に目を留めることが必要だと改めて示されました。イースターの前日、タイムリーに語ってくださった主の愛を思い、十字架の苦難を忍び、よみがえられたイエス様を賛美しました。

お祈りください：教会を共に建て上げていく働き人、ピアノまたはギターの奏楽者が与えられるように。（英樹）

近 況 & 祈 祷 課 題

要配慮国　ちえ

- 偶像崇拝で暗闇の支配下に置かれているこの国にキリストの栄光が現されますように。
- 異教徒からの迫害の中で忍耐している兄姉が主に信頼して信仰に歩むことができますように。
- 現地の方々の霊の目が開かれて福音を聞いて救われますように。そのためにも祈り手が増し加えられますように。

インドネシア　今西勇太・茉莉

- 5 月 12 日から 7 月 8 日までの一時帰国の祝福のために。
- 大学生のエファン兄、フェガ兄、ギラン兄、アフィア姉、アンディ兄への弟子訓練のために。
- 9 月からのリーダー育成プログラムの準備のために。

ベルギー　川上寧・真咲

- 日本人向けの、キリスト教絵画を通して英語と聖書を学ぶ会 (毎週月曜) が好評で、参加者が増えていることを感謝します。また、6 月 15 日に山中敬子姉 (アンテオケ公認ボランティア) と現地の方むけに日本食・日本文化を紹介するイベントの開催を計画しています。どうぞお祈りください。

インドネシア　高橋央也・恵

- インドネシアの教会、団体と協力して新しいプロジェクトが始められ、この地の祝福となることができるように。
- JJCF の働きが祝福され、日本の宣教リバイバルに用いられますように。
- 1 年毎のビザ / 滞在許可が更新されるように。（進捗が少し遅れています。）
- 央也・恵両師の健康と、日本に一人で住む娘のために。

要配慮国　みか

- 大学での働きがさらに拡大しますよう。関わっている学生たちの中に、真理への飢え渇きが与えられますように。

インドネシア　久米麗

- ビザの切り替えに伴い、一時帰国中です。良き休息と霊肉の養い、7 月のデピュテーションの守りと祝福を。
- 病の中にある方々とご家族に癒しと励まし、平安がありますように。
- 8 月 12 日に再渡航します。速やかなビザの発給と渡航の守りと祝福を。現在も短期ビザのため、一日も早く長期ビザ（一年）が発給されますように。

宣教支援広告

アンテオケ公認ボランティア紹介

東名古屋キリスト教会
パークサイドチャペル
映像監督　成田淳

僕は最近、フィリピンへの母との帰省を通して家族の絆を深めつつ、映像作品の上映会や高校での講演活動を通じて、自身の証やメディアを通じた働きについてお話しする機会に恵まれました。特に、若い世代へ向けて、映像がどのように社会に貢献できるかを伝えることに力を入れています。

また、8月には高橋めぐみ先生をはじめとする方々とインドネシアを訪問する予定です。現地の人々と交流しながら、クリエイティブな方法で福音を伝える取り組みを進めていきます。これからも多くの方々とつながりながら、映像を通じて神様の愛を伝えていきたいと思っています。引き続きお祈りとご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

カリスチャペル神路
渡邉奈緒美

4月14日より6月4日まで能登半島におります。韓国の宣教師の先生が開設している能登復興センターにキッチンカーを持ち込んでワーカーとして関わっています。ご奉仕くださる教会チームやクリスチャン団体の皆様を受け入れ、そして共に仮設住宅のご奉仕や清掃など活動しております。

教会を建てて欲しいと希望を話してくださる方々の為に何ができるか、今年はランダムに能登に伺いますが、今後どのような働きを主が与えてくださるのか期待しつつ進んでいます。また、9月後半には、イギリスで留学生伝道をしている相馬裕美宣教師のところへ行く予定です。新しい留学生のために、おもてなしをする予定です。

千代田福音教会
山中敬子

2000年のアンテオケのセミナーで、「日本食を通して、海外に住む日本人や日本人宣教師を励ます働きをしたい」とのビジョンが与えられ、2018年にKBIのMTCコースを受講する中で、そのビジョンを《もぐもぐミッション》と名付けました。海外で日本食を作り、現地の人に日本を知っていただく。一方、日本にいる人に宣教地の食事を通して宣教地と結び、宣教地のことをもっと知っていただきたいという思いで活動を始めました。これまで、カナダのウーマンズシェルター、インドネシアやカンボジア（おせち料理で日本人と新年を祝う。）国際教会のカンボジア人スタッフに感謝弁当を提供、女性の自立支援施設でクリスマス祝会のお弁当作り、スウェーデンでは元日本宣教師をランチに招く、などなど。日本では宣教師が訪問する教会で、インドネシア・タンザニア・カンボジア料理を作り愛餐会を行いました。一緒に食事をするとき、心がホワッと開きます。私に与えられた賜物を生かして、今後も用いられるなら嬉しいです。

東栄福音キリスト教会
土門市子

第一回目の「じゃむきゃん」に参加した時、スタッフだった山中敬子さんから「一緒にインドネシアに行きませんか？」と声を掛けて頂いた時のことを今でも鮮明に思い出します。こんな私に一歩を踏み出すきっかけを与えてくださった主。そしてその後、KBIでのＭＴＣ受講では、さらに宣教の奥深さと喜びを多くの方々から教えて頂きました。その歩みの中で、主は多くの新しい出会いを与えて下さり、今年６月から教会から送り出され、インドネシアバリ島でご奉仕させていただくことになりました。「Jam 日本から世界へ」わたしの行くところどこででも、わたしの神、主がわたしとともにおられる恵みに感謝します。

踏み出せる小さな一歩を重ねて

井野 葉由美を支える会　緒方 賢一

井野葉由美宣教師をドイツへ遣わして約20年。困難や戦い、そして、新たな宣教地への移動がありながらも、主が必要のすべてを満たし、一切の不足なく、遣わされる者、支える者を導いて下さり、ここまで来ることが出来ました。未だ、主の召しに応えるべく途上にありますが、現地と日本の主にある兄弟姉妹が一つのからだとして渾然一体となり、期待にあふれて宣教の召しに応答できることは、何という恵みでしょうか。

年数に関係なく、今も私たちの意識の根底にあるのは、何か特別なことをしているということではありません。すべての弟子に主から託された使命として、年齢に関係なく、どんな者でも宣教への小さな一歩を踏み出せるようお互いに励まし助け合って行くということです。そして、それぞれが踏み出す度に「私も、現地の先生と共に、かの地で宣教しているのだ」と私事として受け取る…。また、礼拝では勿論のこと、何気ない日常でも、ドイツをはじめ、他の宣教地での働きのために、また、国内における宣教の働きも覚えて祈るように、また、必要に応じて捧げることが出来るようにと、教会を挙げて促し合います。最近では、ある先生が言われた「礼拝の後奏曲は宣教への前奏曲である」という言葉に倣い、ほぼ毎週の礼拝の祝祷前に主イエスが語られた宣教命令（マタイ 28:19～20、マルコ 16:15、ルカ 24:46～49、ヨハネ 20:21、使徒 1:8）をもとに宣教派遣の宣言をし、それぞれが置かれたところへ遣わされて行くということを続けています。

これからも、特別なことでなく、キリストのからだ全体が、初代教会のように一つに祈り、同じ御霊の声を聴きながら、主がよしと言われるまで、地道にコツコツと召しに応えて行きたいと願います。

B姉のご家族と＊写真の一部を加工しています
（モンゴル　高橋宣教師）

ミュンヘン日本語教会新会堂（ドイツ　井野宣教師）

三男ヨハン宣教師の按手式（韓国　長澤宣教師）

礼拝場所移転

ドイツ　井野葉由美

新しい命が芽吹く春、この４月からミュンヘン日本語キリスト教会は、新しい場所で礼拝を始めています。中央駅から路面電車でわずか２駅、地下鉄もたくさんの路線が通っている便利な駅で、そこから徒歩７分です。ミュンヘン教会は、2011 年の設立以来、ずっと同じプレザレンの会堂をお借りして礼拝していましたが、入り口がわかりにくく、初めて来られる方が戸惑っていました。新会堂はメソジスト教会で、通りに面して Friedenskirche（フリーデンスキルヒェ・平和教会）と書かれています。また、段差が無く会堂に入れるので、ベビーカーの方も問題なく来ることができます。明るい会堂の背後にはティータイムに使える小部屋があり、別に子ども用の部屋もあります。何より嬉しいのは時間に余裕があることです。イースター礼拝には、子どもたちは小さな庭でエッグハントをして大喜び！ティータイムには皆さんの心づくしのケーキなどがずらりと並び、いつもよりゆっくりと交わることができました。賃料は今までよりも高くなるのですが、とても良心的に設定してくださっています。今はまだ試用期間で本契約は６月になるのですが、神さまがこのようなすばらしい礼拝場所に導いてくださったので、教会員一同、本契約できることを祈っています。先日、福音主義教会連合の牧師会に参加した折、一緒に祈りの時を持った牧師が「日本語教会が、そのドイツ教会に光をもたらすヴィジョンが与えられた」と言ってくださり、大変励まされました。自分の教会の枠にとらわれず、協力して神の国のために労していきたいです。５月末には日本から 12 名の宣教ツアーが来られます。お互いにとって良い刺激となりますように。

カナダで作ったいなり寿司
（公認ボランティア・山中敬子姉）

旧正月の家族三景

モンゴル　髙橋真一・千恵美

モンゴルは家族や友人が互いの家を訪問して旧正月を祝います。延々と食べて交わる胃袋ミッション。今回も沢山の家族を訪問。交わりの場が伝道、牧会ケアや宣教報告会になりました。

トゥシグ姉と出会って 12 年。高校生だった彼女も三人の子育て中、ご主人のモギーは教会にも来ています。モンゴル男性らしく、筋骨隆々の太マッチョです。好青年で家族を大切にします。しかし信仰となると煮え切らない、信仰あるのか？妻への優しさで教会に来るのか？信じているのにです。旧正月で楽しく盛り上がっている中で、御霊が「今だ！」と示され、「モギー、イエス様を信じていますか？！」「はい」「では洗礼を受けませんか？主の御前に告白して信仰を証しなさい。」日本と違い強く迫ることもモンゴルでは時に必要です。少し考えてモギーは洗礼の決心をしました。この夏、教会のサマーキャンプで洗礼です。感謝！

サイナー兄と奥さんのサラ姉は TX 教会の中心的メンバーでユースリーダーです。彼ら二人とも母親が要介護となり、急に田舎へ引っ越すこととなりました。彼らはウンドルウラーン村のリーダー、チムデー＆ビャンバ夫妻の後継を期待されていましたが、主のご計画は違ったようです。二人が抜けることは大きな痛手です。お祈りください。

B 姉の父 O 兄（69 歳）は宣教チームの一員です。ほぼ毎月チーム８人ジープ２台で国境を越え、中国のモンゴル系少数民族やロシア連邦の国々へ。次回はトゥバ共和国に向かいます。可能なら日本にも伝えたいと燃えています。モンゴルの高齢者は定年後に宣教アウトリーチに参加する人が多い！チームには 82 歳の仲間もいるとか。日本も見習いたいです。（真一）

わたしがこれから何をするかよく見ていなさい

タンザニア（日本ベース）安川圭吾・美穂

21 年以上に及んだタンザニアでの奉仕を終え、昨年春に帰国してから１年が経ちました。今でもタンザニアの愛する人たちと彼の地での歩みを思い出すと、喜びと悲しみが混ざり合った気持ちになります。帰国後の１年は家族全員「変化の波」に揉まれながら、とにかく必死に泳いできた思いです。そんな中にも主の優しい励ましや助けを日々感じ、家探し、家具探し、子どもの学校準備・・と、全てゼロからのスタートでしたが、必要なものは不思議に次々と与えられ、主が私たちを養って下さっています。

タンザニアでは、後継者として任命按手したハニット牧師夫妻を中心に、教会が生き生きと成長しています。困難は多くありますが、真実な主が教会を祝福し導いて下さり、新しい人たちも加えられています。ハニット牧師とは電話やメールで連絡を密に取り合い、祈り励ましています。帰国した直後、主が私に「わたしがこれから何をするかよく見ていなさい」と語られたことがありました。「日本でも主が私たちに計画を持っておられるのだ、役割があるのだ」と分かった時、心に大きな喜びと励ましとなりました。

その後、教会訪問や教団キャンプなど色々な奉仕の機会が与えられて、今年に入ってからは地元の河内長野で教会開拓とリバイバルに備える集会を導いています。また、私は昨年４月から母校で非常勤講師として高校３年生に「キリスト教概論」を教えています。生徒たちと聖書やタンザニアの話を分かち合う時間は本当に至福の時です。これからも、主のなさることを見つめながら、喜び仕えていきたいです。どうぞ引き続きお祈りください。（美穂）

近況＆祈祷課題

国内外宣教　岡本告・涼子

・オンラインでの宣教が祝福されるように。家族の信仰、健康、生活が守られるように。祈り、支えてくださる方々がさらに祝福され、お一人ひとりに神様の守りがあるように。

タイ　新納真司・玉皇

・無料英会話教室が教会で５月から始まります。多くの参加者が与えられ、伝道のきっかけとなるように。講師のサンドラ姉のために。

台湾　高井ハラー由紀

・神学院での奉仕のあらゆる局面において、知恵と力が与えられるように。
・英語教会 TICC の奉仕を続ける体力が与えられ、奉仕者が備えられるように。
・次男ジェームズ彰基は６月に高校卒業です。台湾最後の二ヶ月弱が良い時間となるように。
・A さんが大学院に合格し感謝！ダニエルとの週一回の学びを通して、信仰に導かれるように。

イギリス　相馬裕美

・私たちが伝道していた留学生たちがそれぞれの国に帰国しました。バイブルスタディに参加していた学生たちが帰国後も教会につながるように
・ミニストリーのための家が与えられるように。家の購入も含めて導きを求めて祈っています。

インドネシア　渡部惇

・いつもお祈りありがとうございます。宣教２年目に入りました。続けてチカランに住む日本人と出会い、キリストの福音を届けることができますように。
・今年控えている結婚の準備が良くできるようにお祈りいただけると幸いです。

要配慮国　N・K

・３月末に無事帰国しました。皆様のお祈り感謝します。10 月の再派遣後は、A 国における女性の差別、搾取に終止符を打つことをビジョンに掲げるクリスチャンの職業支援団体でのデザインと御言葉奉仕のボランティアスタッフを都市部でしつつ、滞在中に導かれた西地方の奥地伝道に重荷が与えられています。
・伝道チームにビジネスビザが与えられ、奥地にも開かれるように、A 国に祈りと共に心を合わせて宣教に立ってくださる方々が起こされるように、A 国語、英語の上達、霊肉の健康のためにお祈りください。

北フランス　宮坂鉄也・ジャンネメ

・１月から始まった家の修繕工事が無事に終わりますように。
・来シーズンも続けることになった、サッカー・コーチを通して、地の塩、世の光として働けますように。
・主の愛をより深く経験し、そこに留まり続けることが出来るように。

インフォメーション

献金芳名リスト・教会および団体（1～3月）

アルゼンチン宣教を支える会（2）井野師を支える会（3）　インドネシア福音（3）宇井師を支える会（3）浦和福音（3）　大磯キリスト（3）大阪栄光　岡本師を支える会（3）　貝塚教会　加古川バプテスト　香住丘キリスト　片柳福音　自由（2）　可児福音（2）　上里キリスト　上山聖書　韓国ろう者宣教支援会　かもい聖書（6）京都シオンの丘（3）　久米麗を支える会（3）クリスチャンフェローシップチャーチ（2）　グレイスキリスト　神戸希望を支える会（3）　札幌福音館（2）　シャローム福音　鈴鹿キリスト福音（3）　相馬裕美を支える会（3）　立川駅前　垂水（6）　高橋央也・恵と共に歩む会（3）タンザニアミッション（2）　千代田福音　土崎グローリア（2）　東栄福音（2）　東京若枝（3）名古屋一麦（3）　日本イエス教団事務所（3）朴師を支える会（3）　平塚福音（2）　北海道聖書学院学生会　プラトナの会（3）　本郷台（3）　丸亀聖書（2）　岬福音　未伝地ミッションを支える会（3）　森福音・グリーンヒルチャペル　モンゴルミッションジャパン　山形聾者キリスト（2）　大和カルバリー（3）　山中ファミリーを支える会　ライフリバーチャーチ浜北　栗東キリスト　渡部惇師を支える会（3）

献金芳名リスト・個人（1～3月）

井野葉由美　井原敬二　岩井清　岩井輝子（3）宇井英樹・由美（3）　小山田格　甲斐博（3）川上寧・真咲（2）　久野洋子　笹川洋史　杉山順規　高井ヘラー由紀（3）　タカムラマサアキ　高山嘉津子（3）　高山雅江　千金町子　坪内貴代子　浜崎国子　福澤圭子（2）　星出卓也・薫（3）　三浦岸雄（3）　目黒グレース　山下祐弘（3）　米田由希子　KIM INSOOK　KIM MINSEOK　MOON SOONYOUNG　匿名（7）（教会・団体・個人　計167件）

事務局からのお願い

ご献金のお振込みには、所定の赤色の払込取扱票か、「ゆうちょダイレクト」をご利用ください。

アンテオケ宣教会の口座情報

●ゆうちょ銀行
00170 － 4 － 10379

●三菱ＵＦＪ銀行
池袋東口支店（普通）1068695

オンライン献金

利便性のために、これまでの献金あて先の他に、オンライン献金を始めました。ご利用いただける方は、こちらの QR コードからご利用ください。

MK の集い @ GRC (Global Returnees Conference)

このGWに（5/4-6）河口湖で開かれた2泊3日のGRCにおいて、初めて「MKの集い」が開かれ、該当する方々や、関係者が一同に会し、とてもエキサイティングな2時間を過ごしました。この企画は、すでにMK（宣教師子弟）に重荷が与えられていたOMFの菅家容子師が始めた「ドリアン会」に端を発し、毎回MK時代にそれぞれの経験してきた痛みや悲しみをZoomで分かち合っていく中で、絆が結ばれ、笑いあり、涙ありの交わり会がベースになっています。今回初めて会った人たちも多く、「あー、あの先生のお子さんでしたか・・・」というようなケースもあり、新鮮な出会いと、「宣教師あるある」の話題が満載でした。まずはこの第一回を記念して、今後、更につながっていくMK、元MKたちが増し加わっていければいいなと思っています。もっと時間があれば・・・と惜しみつつお別れの時間になりました。今回アンテオケから現役のMKたちの参加はなく残念でしたが、気軽に繋がり、少し話すだけで分かり合える友を作ることができます。ぜひ次回に期待してください。そして繋がっていきましょう！（高山）

JAPAN ANTIOCH MISSION

アンテオケ宣教会

〒101-0062　千代田区神田駿河台 2-1 OCC ビル 203 号
TEL：03-5577-7035　E-mail：jimukyoku@jantiochm1977.net
ウェブサイト jantiochm1977.net　郵便振替 00170-4-10379

公式サイト＆SNS